

公開シンポジウム

近世中国の刑事政策と社会問題

日時：平成 23 年 12 月 10 日（土）

13:00～16:30（受付 12:30～）

会場：富山大学人文学部 2 階 4 番教室

【プログラム】

趣旨説明 徳永洋介（富山大学）

報告 1 米田健志（京都橘女子大学）「後漢の党錮事件と桓帝の政治」

講評：徳永洋介（富山大学）

報告 2 妹尾達彦（中央大学） 「唐代都城の治安問題」

講評：小島浩之（東京大学）

報告 3 徳永洋介（富山大学） 「北宋時代の重法地分と常法地分」

講評：谷口規矩雄（大阪大学）

報告 4 大澤正昭（上智大学） 「南宋『豪民』攷」

講評：陳弱水（台湾大学）

報告 5 徳岡 仁（平成国際大学） 「清末以降の治安組織」

講評：中村正人（金沢大学）

主催 富山大学人文学部東洋史研究室

共催 平成 23 年度科学研究費助成事業

基盤研究(C)（課題番号：23520860）

「宋元時代の刑事政策とその展開」研究班（研究代表者：徳永洋介）

問い合わせ先 富山大学人文学部徳永研究室 電話番号：076-445-6131（代）